

特別会計

特定の事業を行う場合で一般会計のお金と区分して経理する必要がある場合に法律や条例に基づき設置しているもので、町では、9つの特別会計が設置されています。

単位：万円

会計名	歳入	歳出
国民健康保険特別会計	117,735	114,092
老人保健特別会計	111,344	111,343
介護保険特別会計	42,357	42,198
土地取得事業特別会計	5,889	5,862
工業団地特別会計	3,073	3,062
鏡石駅東第1土地区画整理事業特別会計	7,506	7,357
公共下水道事業特別会計	61,322	61,096
農業集落排水事業特別会計	6,700	6,620
育英資金貸付費特別会計	1,493	1,493

上水道事業会計

独立採算制を原則とし民間企業的な事業を行う場合に地方公営企業法の適用を受けて設置する特別の会計

単位：万円

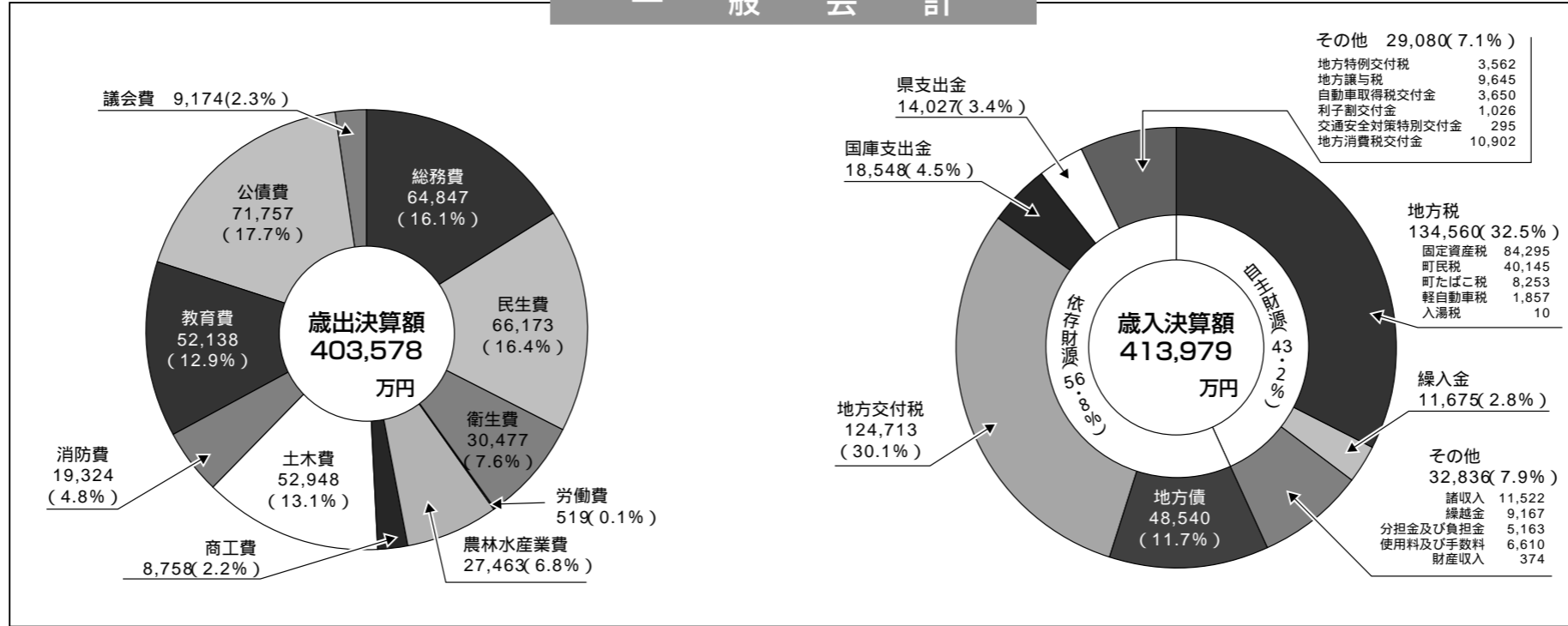
会計区分	歳入	歳出
収益的収支	21,464	19,845
資本的収支	8,588	12,321

人件費の状況

単位：万円

一般会計	403,578
人件費	88,988
人件費率	22.0%

一般会計



平成15年度 決算特集



町の家計簿

公表します

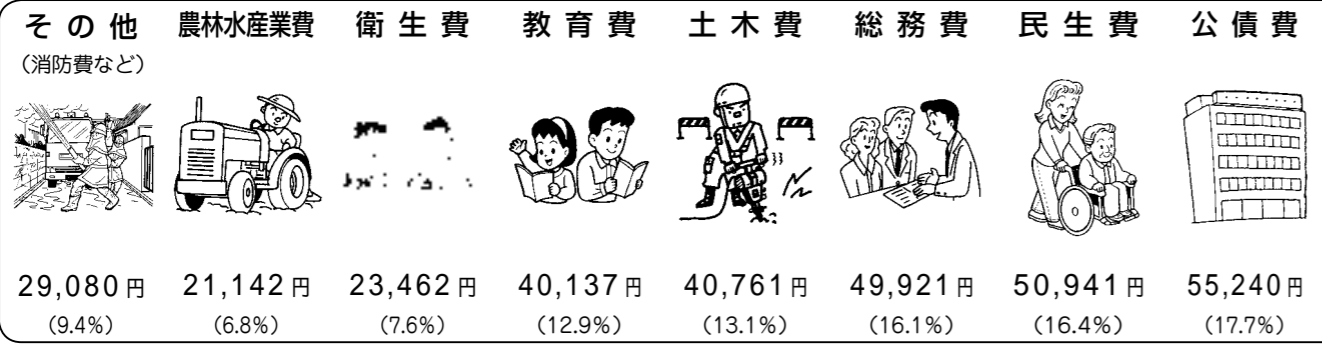
一般会計歳出総額40億3,578万円

9月町議会定例会で、平成15年度の一般会計と9つの特別会計及び水道事業会計の決算が認定されました。今月号では、町のお金がこのように使われたのかをお知らせいたします。

歳入(入ったお金)
 平成15年度の一般会計の歳入状況は、上のグラフのとおりです。
 歳入総額は40億3,578万円、前年度に比べ1.7%減額となりました。
 このほか、地方交付税が12億4,713万円、前年度比で12.3%減額になりました。各種交付金等(国から入ってくる自由に使えるお金)全体では19億26万円、率にして17%減額となりました。
 また、国や県からの補助金なども減少し、歳入全体では前年度に比べ3億3,307万円、率にして7.4%の減額となりました。

歳出(出たお金)
 平成15年度の一般会計の歳出状況は、上のグラフのとおりです。
 歳出総額は40億3,578万円、前年度に比べ16.4%の増額となりました。これは、少子化対策の一環で保育所分園事業や身体障害者のための支援費制度が実施されたためです。
 このほか、建設事業資金などの借入金返済の公債費が7億1,757万円となり、前年度比で5.1%の増額となりました。

9特別会計で35億3,123万円の決算
 9つの特別会計と上水道事業会計の決算状況は、左記の表のとおりです。
 上水道事業会計を除く9特別会計の歳出総額は、35億3,123万円と前年と比べ6,325万円の減となりました。
 特に昨年度は、工業団地特別会計で、2億6,476万円の減となりましたが、国民健康保険特別会計で1億5,725万円の増となりました。



町民のみなさん 1人あたりに使われたお金
一般会計 310,684 円
 (平成16年3月末日の住基人口を基に算出しています。)

用語の解説

- ◆自主財源 地方税など、町が自主的に調達できる財源
- ◆依存財源 地方交付税や国・県支出金などで、国や県から交付される財源
- ◆地方交付税 市町村の財政力に応じて国から交付されるお金。
- ◆地方債 事業を行うため市町村が借りるお金。
- ◆地方税 町民のみなさんや町内に事業所を持つ法人などに納めていただく税金。
- ◆繰入金 お金を積み立てていた基金など、一般会計以外から繰り入れるお金。
- ◆国・県の支出金 町が行う特定の事業に対して国や県から交付されるお金。